

2025年12月14日

千葉県ホームヘルパー協議会研修会

嚥下機能向上に関する全身アプローチ

株式会社アテンド

代表取締役 金 英泰

自己紹介と会社概要

社名	株式会社アテンド
設立	2015年6月
資本金	300万円
代表者	代表取締役 金 英泰
従業員	8名+業務委託12名
所在地	千葉県稲毛区小仲台
事業内容	接骨院・鍼灸院の運営、スポーツトレーナー業等 ○院内施術 ○訪問施術…介護施設、ご高齢者個人宅 企業福利厚生(製造業・保険代理店・介護) スポーツ(社会人サッカー・高校ソフトテニス・JRA)
事業所	なのはな整骨院 稲毛院 訪問事業所 西千葉・本八幡・桶川

ロマン : 優れた人間力と技術を以って
世界中の人々の健康と活力に
貢献する。

ビジョン : 全国に2,500店舗
5,000人の雇用を守る
100万人の高齢者の健康を支える

業界No.1企業になり圧倒的な影響力を持ち
業界の社会的地位を向上させる

～最期までじぶんらしく いきいき～
生きるための食事・生きるための会話

ご高齢者様に
口腔嚥下・身体機能向上メニューを
定期訪問し提供する

高齢者健康課題

- 多い疾病や現状からあるべき姿
- 予防の重要性
- 解決策(弊社の取り組み)

高齢者多い疾病

- ・ 認知症
- ・ 脳卒中
- ・ 骨折、転倒
- ・ 高齢による衰弱
- ・ 関節疾患

厚生労働省が2022年に発表した『[国民生活基礎調査](#)』の結果は以下のとおりです。

「高齢者死亡リスクとBMIの関係」

男性 27.5 (170 cm 85 kg) ~ 29.9
女性 23.0 (155 cm 60 kg) ~ 24.9

※ 29.9 (155 cm 70 kg)位まで標準
22.0と同じ死亡リスク

の時一番死亡リスクが低い

【ぽっちゃり】 【軽度肥満】

金 英泰のBMI

身長 1 7 8 c m 体重 7 0 k g

$$70 \div (1.78 \times 1.78)$$

$$= \text{BMI } 22.093$$

全国高齢者BMI調査

- ・ 1 6 未満 2 8 %
(2 2 台の死亡リスク 2. 6 倍)
- ・ 1 6 ~ 1 7 未満 1 1 %
- ・ 1 7 ~ 1 8. 5 未満 2 1 %
- ・ 1 8. 5 ~ 2 5 未満 3 6 %
- ・ 2 5 以上は 4 %

高血圧・中性脂肪・コレステロール
より
【低栄養】による【虚弱(フレイル)】
予防が優先

体重を増やすことによって、
高齢者ならではの別のリスクを回避するため

※赤血球数などの減少で「認知症」になりやすくなる

赤血球数などが減少すると「認知症」になりやすくなります。たんぱく質や鉄分が不足すると、赤血球数が減少し、貧血になります。

米国神経学会の発表では、貧血の人は貧血でない人と比べて約41%の知症発症リスクがあるということです。

特に、血液に含まれる赤血球・善玉コレステロール・アルブミンの数の低下が関係していると言われています。

参考：貧血があると認知症4割増える | 米国神経学会

※免疫力の低下で「感染症」にかかりやすくなる

たんぱく質・ビタミン・鉄分などが不足すると免疫力が低下し、風邪肺炎、インフルエンザなどの感染症にかかりやすくなります。

たんぱく質・ビタミン・鉄分などには、体の免疫機能を整える働きがあります。免疫力が低下すると、症状の重症化も招きます。

※運動能力の低下で「転倒」しやすくなる

※骨がもろくなり、「骨折」しやすくなる

※筋肉・脂肪の減少で「床ずれ」しやすくなる

在宅高齢者の緊急入院の半数が 【肺炎】 【骨折】

『低栄養』

- ・ 筋肉がやせる→運動機能(↓)足腰の筋肉 70 %
瞬発力、持久力、バランス力低下
= 転倒、骨折
- ・ 上半身の筋肉、内蔵動かす筋肉、全身の筋肉がほぼ均等に減る。咀嚼、えんげ機能、吐き出す力低下
= 誤嚥性肺炎

入退院時平均介護度の悪化

肺炎の場合・・・1. 7 2

骨折の場合・・・1. 5 4

※入院で安静、低栄養により1日1%筋肉(↓)
30歳以降1年に1%づつ(↓)

1日の必要カロリーはその人の 「基礎代謝+運動代謝」

基礎代謝・・・心臓、汗かく、呼吸

24時間身体を動かす為のカロリー

運動代謝・・・散歩、仕事、運動

1日に身体を動かすのに必要なカロリー

高齢者は基礎代謝に【障害係数】を掛け算
病気や炎症など消耗されるエネルギー

36.5 → 38.5

体温 1°C上げるのに 200 kcal

400 kcal食べて取り戻さないとけない

カロリー・・・生きていく為に必要な「熱量」

※熱量は自分の筋肉のタンパク質を
分解してエネルギーをまかなう

筋タンパク合成率・・・どれくらいタンパク質を取
ると新しい筋肉が作られるか

体重 1 k g 当たり高齢者は 0. 4 g 必要
(体重 5 0 k g なら 1 食 2 0 g)

ごはん+みそ汁+納豆

=タンパク質 1 0 g

たまご1つ 6 g と豆腐をたすと 2 0 g オーバー

身体活動レベルは「ふつう」70歳の男性をモデルとし、「1日で2200kcal」になる食事量の例を紹介します。

- ・ごはん：茶碗に軽く3杯（※食パンなら1枚/食、麺なら1/2～1玉/食）
- ・じゃがいも：1個
- ・卵：1個
- ・牛乳（ヨーグルト）：1～2カップ
- ・切り身魚：1切れ
- ・薄切り肉：2～3枚
- ・豆腐：1/4丁
- ・納豆：ミニパック1個
- ・野菜・海藻・きのこ：300～400g
- ・果物：みかん1個＋りんご1/4個
- ・油：大さじ1～2
- ・砂糖：大さじ1

表1-1：推定エネルギー必要量（男性）（kcal/日）¹⁾

身体活動レベル※	低い	ふつう	高い
65～74歳	2,100	2,350	2,650
75歳以上	1,850	2,250	—

表1-2：推定エネルギー必要量（女性）（kcal/日）¹⁾

身体活動レベル※	低い	ふつう	高い
65～74歳	1,650	1,850	2,050
75歳以上	1,450	1,750	—

※身体活動レベル：

「ふつう」は自立している者、「低い」は自宅にいてほとんど外出しない者に相当する。「低い」は高齢者施設で自立に近い状態で過ごしている者にも適用できる値である。

【1週間】

10～15%低下

【2週間】

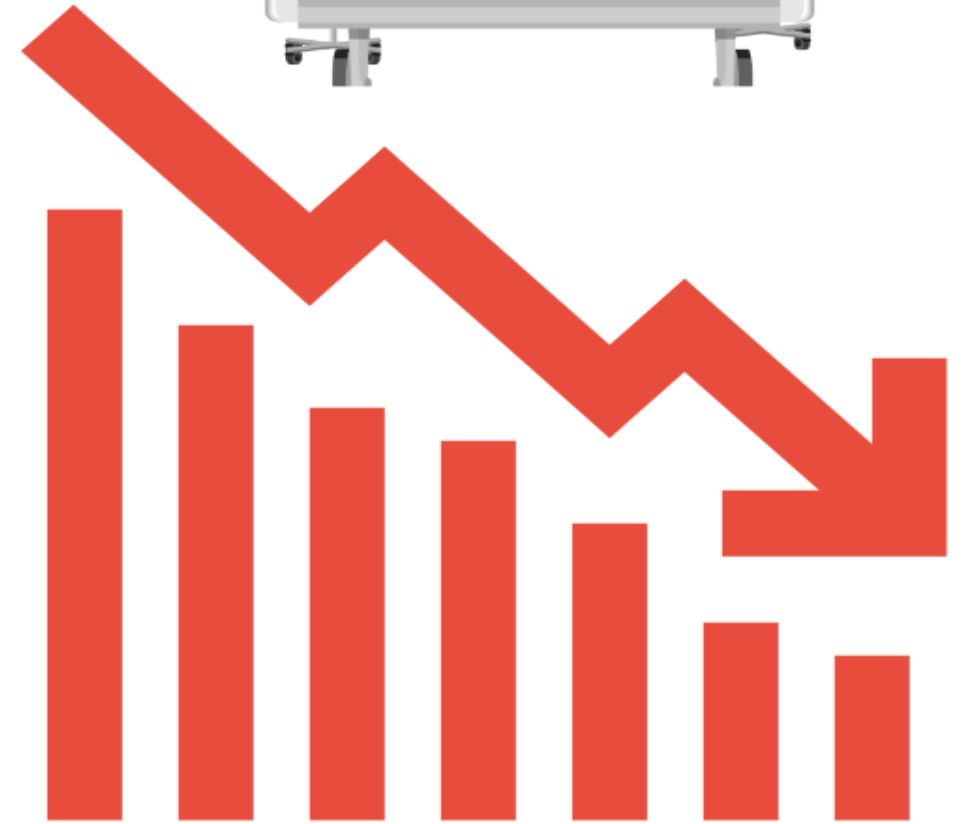
20～25%低下

【3週間】

30～40%低下

【5～7週間】

50%低下

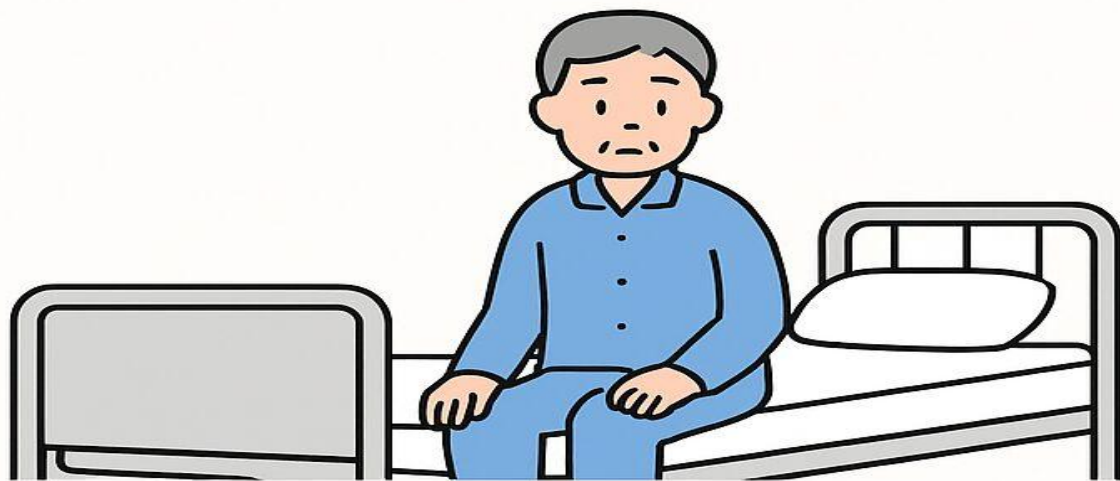


臥床による筋力低下はどのくらい起こるのか？

株式会社 アattend **Attend**

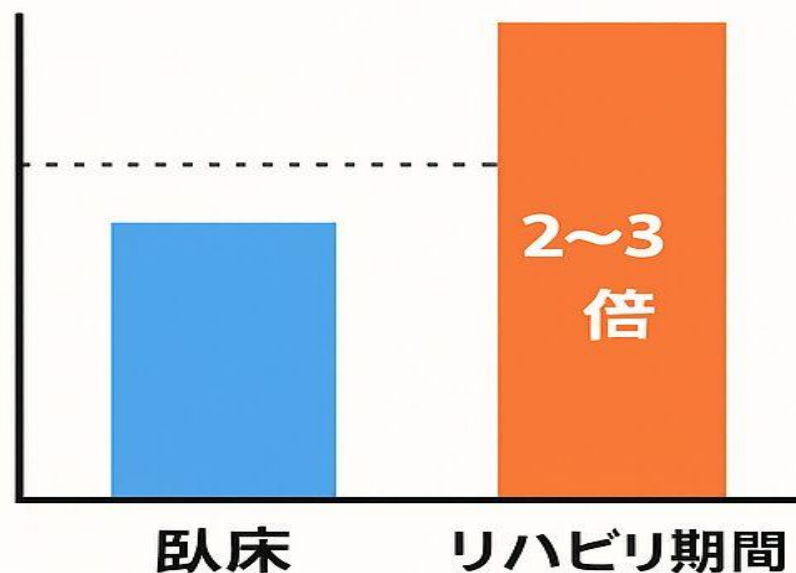
3. 高齢者は廃用がさらに速い

- 高齢者は筋タンパク合成能が低下しているため、同じ臥床でも萎縮速度が速い

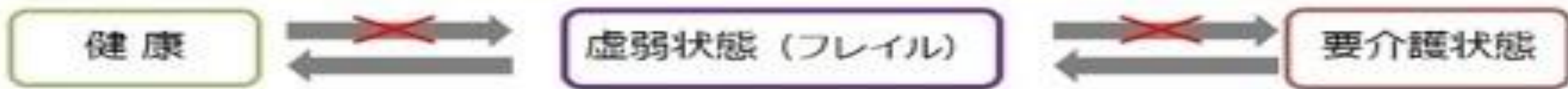


- 研究では入院した高齢患者が1週間ベッド上生活を送ると、下肢筋力が最大30%低下する例も

回復の必要期間



- 回復には「**臥床期間の2~3倍以上のリハビリ期間**」が必要になることも多い



機能が低下する前の予防が重要
落ちた筋力は元に戻るのには3倍の努力が必要

高齢者の筋力低下スピードと回復目安

- ・ **1週間の臥床** → 筋力が20～30%低下。1～2か月かけても完全回復しないこともある
- ・ **2～3週間の臥床** → 回復に3～6か月、または完全回復困難
半年経っても元の水準に戻らない場合あり
- ・ **1か月以上の臥床** → 元の生活機能に戻らず、介護が必要になる例も多い
「完全回復」が難しく、低下した筋力が新しい基準（フレイル状態）となってしまうこともある。

フレイル予防の3本柱

- ・ **運動**：週3回の筋力トレーニング **呼吸**
- ・ **栄養**：適切なタンパク質と
ビタミンD摂取 **食べる**
- ・ **社会参加**：人との交流を維持 **喋る**

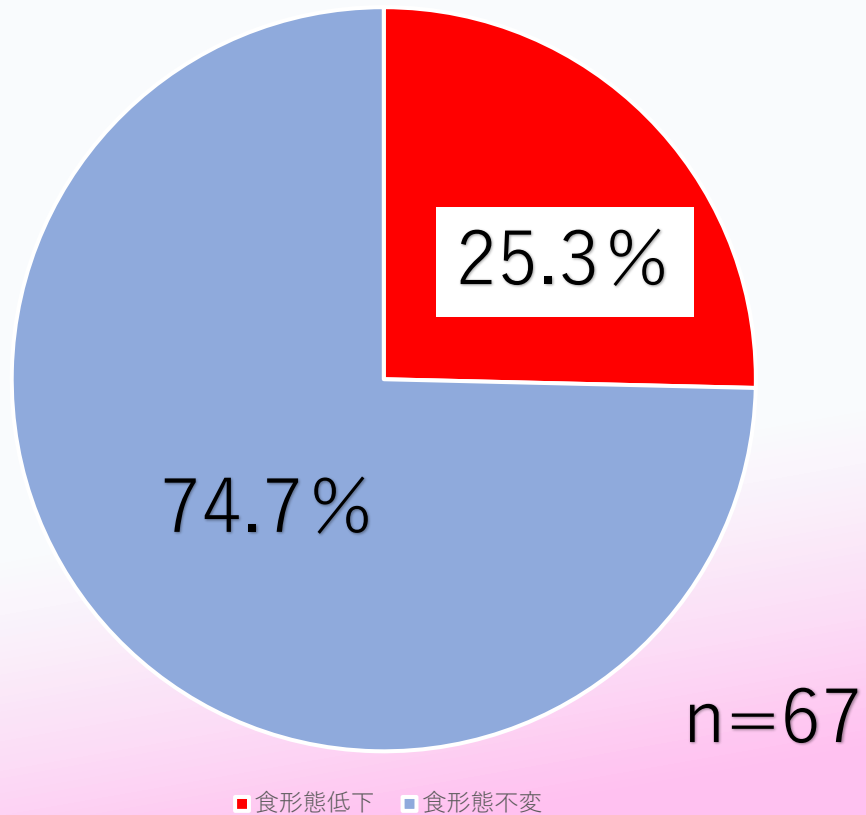
いつまでも食べたいものを食べられる口
動きたいときに動ける身体
喋りたいときに喋られる口

を維持し

健やかな日々を送っていただく

弊社独自調査により

老人ホーム利用者 1 年後の食形態変化



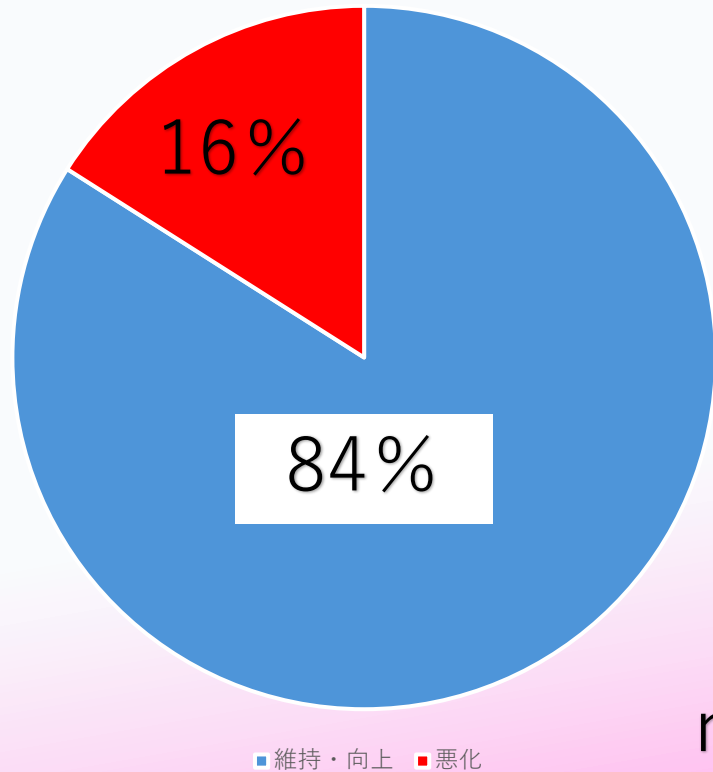
介護施設に入居している
高齢者の **4 人に 1 人** が
一年間で食べる能力が低下

* 食形態：食べる機能が低下することで
普通食 → 刻み食 → ミキサー食へ変化

参照：アattend調査資料
調査期間2025年2月～4月
千葉県内特別養護老人ホーム2施設
ケアマネジャーより聞き取り

弊社訪問鍼灸介入により

介入後の食形態状況



■ 維持・向上 ■ 悪化

n=25

介入継続半年～1年の
対象者の **8割機能維持・向上**

* 長期間遡っての集計のため、利用者の死亡
入院等により、追跡数が少ない

参照：アテンド調査資料
調査期間2025年2月～4月
千葉県内特別養護老人ホーム2施設
ケアマネジャーより聞き取り

食形態の変化が栄養摂取量に及ぼす影響

山下由美子・赤田 望

The Effects of Texture Modifications on the Nutritional Value of Diets for the Elderly

表1 提供重量（1日目）

	提供重量（g）
予定量	423
常食	451
刻み食	451
ミキサー食	476

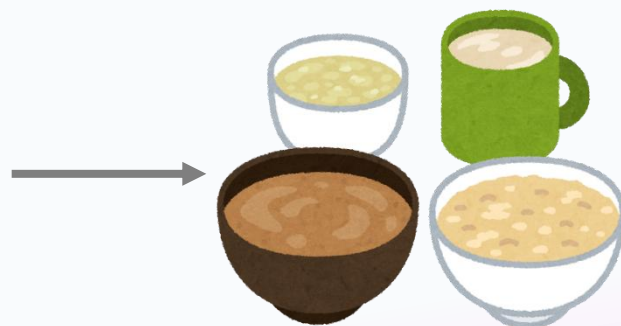
表2 提供栄養量（1日目）

	エネルギー （kcal）	たんぱく質 （g）	脂 質 （g）
予定量	545	27.6	18.2
常食	594	27.1	17.2
刻み食	397	21.6	14.4
ミキサー食	347	20.1	12.3

食形態が変化すると介護現場で何が影響するのか



普通食



ミキサー食

普通食の場合
キッチン工程無し→独りで食事



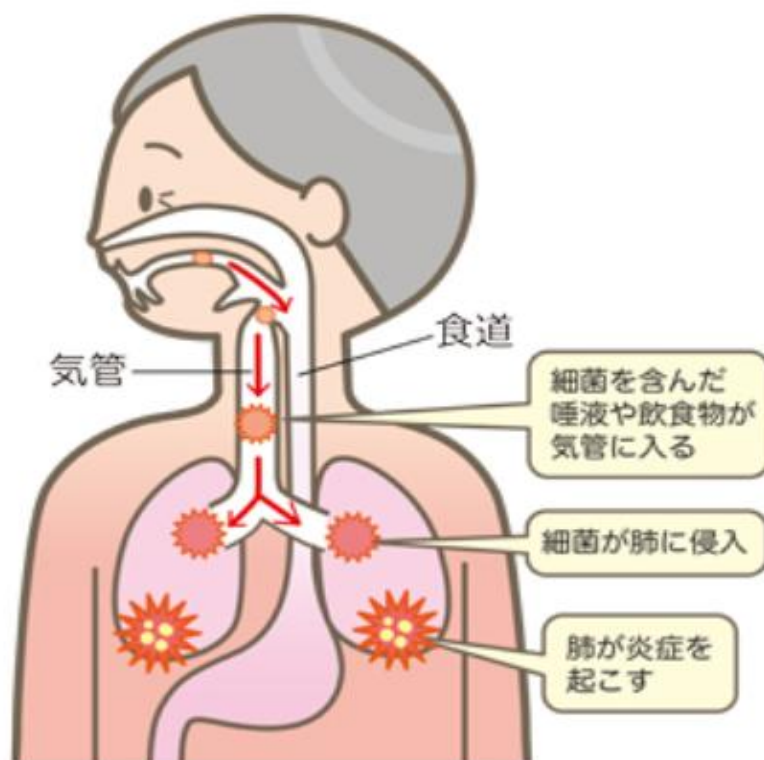
ミキサー食の場合
キッチン工程有→食事介助

個別の食形態対応は
介護従事者の手が掛かる
👉業務忙殺で離職につながる

高齢者社会での新たな健康課題

誤嚥性肺炎のイラスト

ごえんせいはいえん

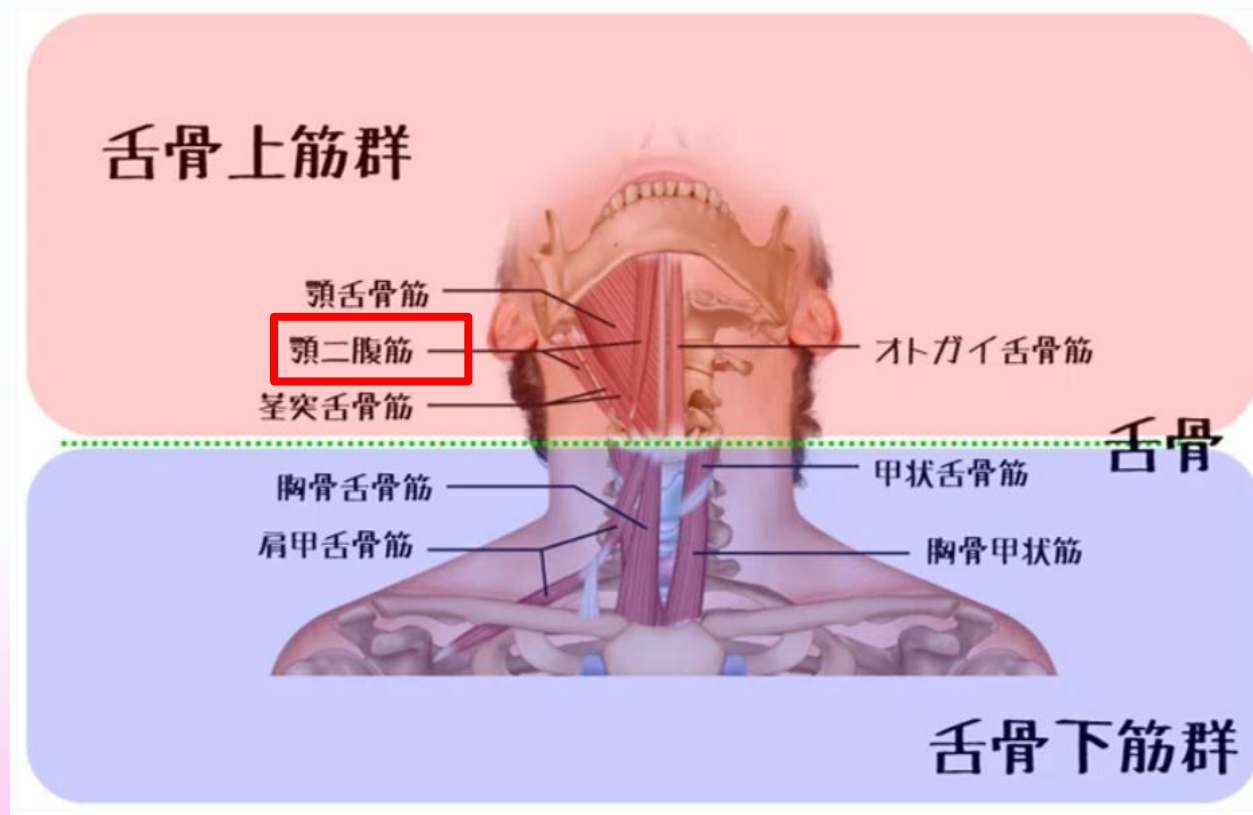
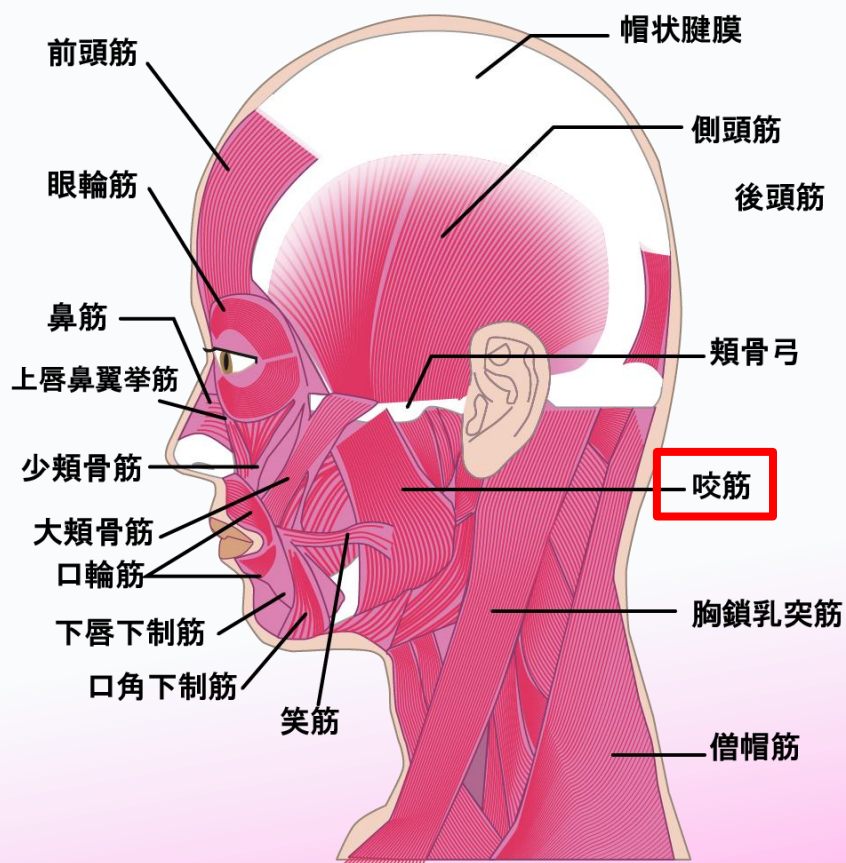


誤えん性肺炎の原因

- ① えん下障害
- ② せき反射の働きの低下
- ③ 口の中が清潔に保たれていない
- ④ 体力や抵抗力の低下

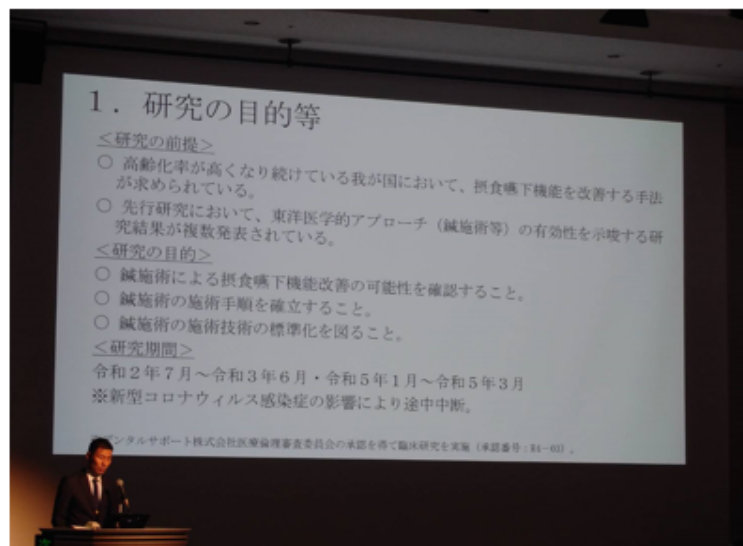
年間死亡者 4 万人超

嚥下障害は、咬筋・顎二腹筋が硬くなり、機能障害発生



硬くなっているところを鍼で
弛緩させ、機能を改善

日本摂食嚥下リハビリテーション学会 一般症例報告 2023. 9. 3 鍼施術による摂食嚥下機能改善の可能性 Improvement of the eating and swallowing functions by acupuncture methods to the aged people



<被験者の感想>

- 食形態が改善した（きざみ食→通常食）。
- 食事の際の食べこぼしが少なくなる。
- 「食事がしやすくなった」との声を複数頂く（来院時の感想）。
- カラオケの点数の向上。

株式会社アテンド（なのはな整骨院）

鍼灸師 金 英泰 KIMU YONTE

医学会にて訪問施術を発表し、科学的妥当性を検証中

1. 研究の目的等

<研究の前提>

- 高齢化率が高くなり続けている我が国において、摂食嚥下機能を改善する手法が求められている。
- 先行研究において、東洋医学的アプローチ（鍼施術等）の有効性を示唆する研究結果が複数発表されている。

<研究の目的>

- 鍼施術による摂食嚥下機能改善の可能性を確認すること。
- 鍼施術の施術手順を確立すること。
- 鍼施術の施術技術の標準化を図ること。

<研究期間>

令和2年7月～令和3年6月・令和5年1月～令和5年3月

※新型コロナウイルス感染症の影響により途中中断。

※デンタルサポート株式会社医療倫理審査委員会の承認を得て臨床研究を実施（承認番号：R4-03）。

2. 研究対象者

- 整骨院に定期的に通院している患者様70名を対象とした。
※摂食嚥下機能に影響のある疾患を有している被験者はいなかった。
- 60歳以上の男女を対象とし、年齢の構成は以下の通りであった。

年代	男性	女性	合計
60代	13名	14名	27名
70代	11名	11名	22名
80代	5名	10名	15名
90代	0名	3名	3名
合計	29名	38名	67名

- 研究の過程で、いずれも本研究と直接の関係を有さない原因により入院で、3名の被験者が途中離脱した。

順番	時間	内容	経穴	対象部位①	対象部位②
1	30 秒	東洋医学アプローチ	合谷		
2	30 秒	東洋医学アプローチ	太谿		
3	30 秒	東洋医学アプローチ	足三里		
4	30 秒	筋・唾液腺	翳風	胸鎖乳突筋	顎二腹筋
5	30 秒	筋・唾液腺	下関	外側翼突筋	咬筋
6	30 秒	筋・唾液腺	頬車	咬筋	
7	30 秒	筋・唾液腺	大迎	咬筋	広頸筋
8	30 秒	筋・唾液腺	上廉泉	舌骨筋	
9		鍼の除去			

ツボ
その

1

東洋医学
アプローチ

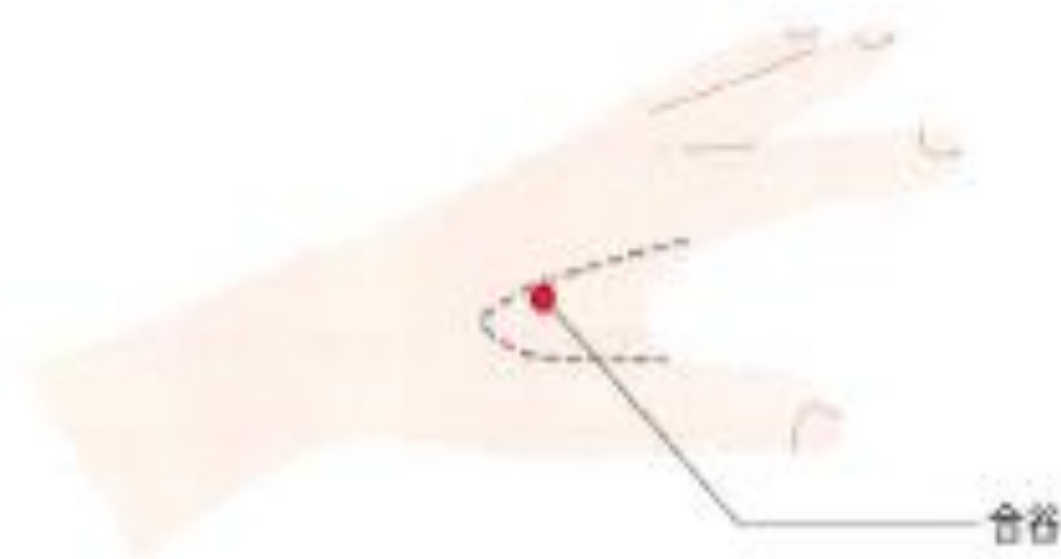
30秒

期待する
主な効果

別名「万能穴」オールマイティーに効き、からだをニュートラルにリセット
させやすいツボ。内面の気・活力を整える。
反射作用を誘発し、筋力を活性化させる。

経穴

こうこく
合谷



合谷

クボ
その

2

東洋医学
アプローチ

30秒

期待する
主な効果

呼吸が浅くなるのを通常に戻す。

経穴

たいけい
太谿



ツボ
その

3

東洋医学
アプローチ

30秒

期待する
主な効果

食物を胃で吸収することを助けて消化し、
全身に送り込む作用を向上させる

経穴

あしさんり
足三里



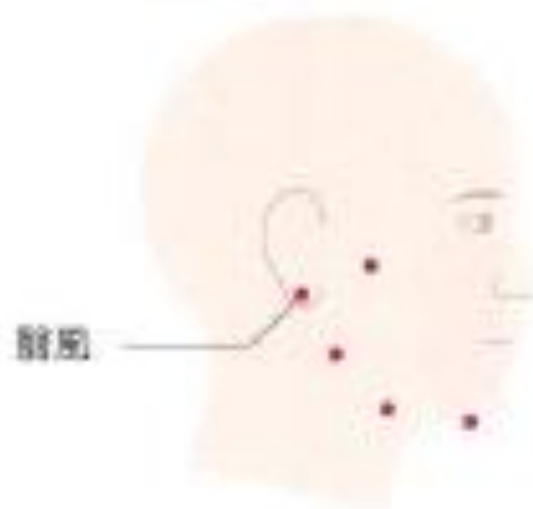
ツボ
その**4**

筋・唾液腺

30秒

期待する
主な効果

姿勢を整える。頸蓋脊椎角（CV角）を整え、顎が前に出ているのを戻して
円背を改善する。
耳下腺を刺激して唾液分泌を促す。

経穴
えいふう
翳風対象部位
にゅうさきゅうとつじん がくにふくじん
胸鎖乳突筋・顎二腹筋

ツボ
その

5

筋・唾液腺

30秒

期待する
主な効果

噛む力の改善。口の動きを良くする。
舌骨を間接的に刺激する。

経穴

げかん
下関

対象部位

がいそくよくとつさん こうさん
外側翼突筋・咬筋



クボ
その

6

筋・唾液腺

30秒

期待する
主な効果

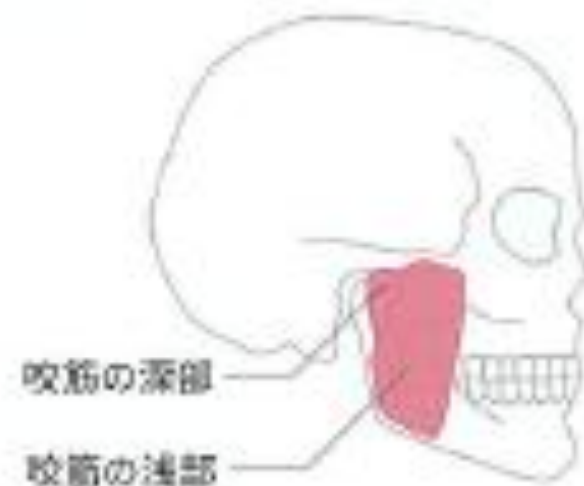
噛む力の改善。口の動きを良くする。
顎下腺を刺激して唾液分泌を促す。

経穴

きょうしゃ
頰車

対象部位

こうきん
咬筋



株式会社 アattend

Attend

ツボ
その

7

筋・唾液腺

30秒

期待する
主な効果

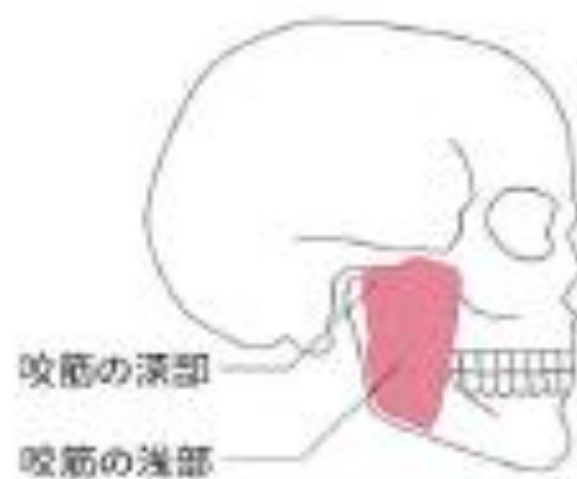
噛む力の改善。口の動きを良くする。

経穴

だいげい
大迎

対象部位

こうさん こうけいばん
咬筋・広頸筋



ツボ
その

8

筋・唾液腺

30秒

期待する
主な効果

飲み込む力の改善。
舌下腺を刺激して唾液分泌を促す。

経穴

じょうれんせん
上廉泉

対象部位

ぜっこつぎん
舌骨筋（舌骨上筋群／舌骨下筋群）



舌骨上筋群

舌骨下筋群



株式会社 アattend

Attend

<評価項目>

- 口腔内湿潤度（ムーカスによる評価） ○舌圧
- 反復唾液嚥下テスト（RSST） ○オーラルディアドコキネシス（ODK）

<評価方法>

- 歯科衛生士1名が実施。（60～90歳の男女 67名）
- 4回のえんげ鍼施術前に事前評価、4回のえんげ鍼施術後に事後評価を実施した。

<鍼施術の嚥下改善効果>

- 鍼施術により、舌圧を筆頭に全ての評価項目の平均測定値に改善がみられた。
- ODK「タ」/舌圧が改善した人数が多く、鍼施術により舌の動きが改善する可能性が示唆された
- t検定の結果、鍼施術前後の変化に関して有意差が確認された。

<評価結果>

	単位	施術前平均	施術後平均	変化率	改善人数	P 値
口腔乾燥	%	28.08	28.58	101.79%	37 名	0.079
<u>舌圧</u>	kPa	31.44	33.60	106.87%	<u>46 名</u>	0.014
<u>RSST</u>	回	4.25	4.82	<u>113.33%</u>	34 名	0.009
ODK「ハ」	回/秒	6.39	6.61	103.50%	34 名	0.197
<u>ODK「タ」</u>	回/秒	6.32	6.56	103.90%	<u>41 名</u>	0.197
ODK「カ」	回/秒	5.94	6.19	104.07%	38 名	0.174

鍼施術により「舌の動き改善」⇨嚥下障害改善する可能性を示唆

施術サイクル

1人ひとりに合った、ご希望に沿った効果的な施術を行うために、「検査測定」を実施し、その結果に基づいて「長期目標」「短期目標」を立案いたします。各目標の達成に向け、「施術計画」をご提案し、計画に沿って施術を実施いたします。



定期的に「検査測定」を行い、「計画立案」「施術」「ご報告」のサイクルで、計画的かつ効果的な施術を行います。

定期評価（6ヶ月毎）

①口腔機能【RSST・CV角・バンザイ角】

身体を作る、状態を保つために必要な栄養を摂取するために不可欠な機能
食事の状態の改善や、食べたいものを食べ続けるための検査

②身体機能【握力・立ち上がりテスト】

身体を動かすために必要な筋肉の量と力の機能
「やれる動作」を増やしていくための検査

③関節可動域【肩屈曲・膝伸展・足関節背屈・大腿周径・下腿周径】

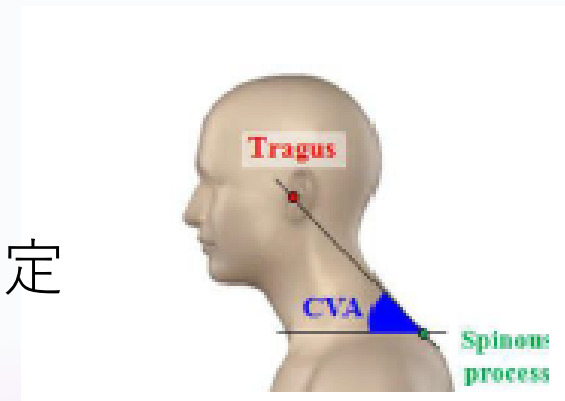
身体活動には不可欠な関節の動きやすさの機能
不活動や寝たきりによる関節拘縮の改善や予防のための検査

定期評価（6ヶ月毎）

RSST 基準値3回
飲み込む機能の測定
30秒間に飲み込める回数を計測



CV角 基準値45度
食事をスムーズに行うための首の角度の測定
横から見た首の角度を計測



バンザイ角 基準値180度
姿勢や上半身の可動域の測定
両手でバンザイをした際の角度を計測



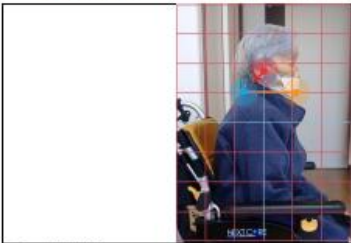
定期評価（6ヶ月毎）

測定日： 2025/1/25 測定者： 森
生年月日： 大正12年11月8日 体重： 41 kg 食形態： ミキサー

前回測定値： kg

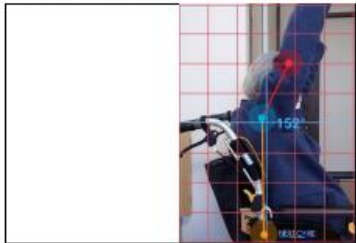
前回CV角写真

今回CV角写真



前回バンザイ角写真

今回バンザイ角写真



【口腔機能】

CV角： 44 度 【基準値：45度】

前回測定値： 度

RSST： 3 回 【基準値：3回】

前回測定値： 回

【身体機能】

握力： 右 10.2 kg ・ 左 7.6 kg 【基準値：男性25kg 女性20kg】

前回測定値： 右 kg ・ 左 kg

立ち上がり： 不可 【基準値：可能】

前回測定値：

【関節可動域】

肩屈曲： 右 可能 ・ 左 可能 【基準値：可能】

前回測定値： 右 ・ 左

膝伸展： 右 可能 ・ 左 可能 【基準値：可能】

前回測定値： 右 ・ 左

足関節背屈： 右 可能 ・ 左 可能 【基準値：可能】

前回測定値： 右 ・ 左

大腿周径： 右 29 cm ・ 左 28 cm 【基準値：左右差2cm以内】

前回測定値： 右 cm ・ 左 cm

下腿周径： 右 26 cm ・ 左 26 cm 【基準値：左右差1cm以内】

前回測定値： 右 cm ・ 左 cm

所見

口腔機能	CV角、RSST共に良好なので維持が必要です。
身体機能	バンザイ角に改善の余地があります
関節可動域	関節可動域は上肢下肢ともに良好で機能維持が必要です。

ご本人様、ご家族様のご希望

健やかに、本人の希望を優先して欲しい

施設からの情報

長期目標

①口腔機能：	嚥下機能維持	②身体機能：	バンザイ角170度
③関節可動域：	関節可動域維持	④その他：	

短期目標（6か月）

①口腔機能：	CV角45度以上	②身体機能：	バンザイ角160度
③関節可動域：	関節可動域維持	④その他：	

実施プログラム

口腔機能

① I-3-6 ペロまわし	② I-3-9 深呼吸
③ I-3-10 舌の左右運動	④ I-3-11 うーいー運動

身体機能

① D-15 上肢 バンザイ 座位	② D-19 体幹 胸開き 座位
③ D-22 膝上げ 座位	④ D-23 下肢 膝伸ばし
⑤ D-24 下肢 膝開き	⑥ D-25 下肢 膝締め
⑦	⑧
⑨	⑩

関節可動域

① G-2 下腿三頭筋	② G-4 後脛骨筋
③ G-5 腓骨筋	④ G-6 前脛骨筋
⑤ B-10-1 足関節 底屈・背屈 座位	⑥ B-12-1 膝関節 屈曲・伸展 座位
⑦ B-13-1 股関節 屈曲・伸展 座位	⑧
⑨	⑩

【口腔機能】

CV角： 44 度 【基準値：45度】

前回測定値： 度

RSST： 3 回 【基準値：3回】

前回測定値： 回

【身体機能】

握力： 右 10.2 kg ・ 左 7.6 kg 【基準値：男性25kg 女性20kg】

前回測定値： 右 kg ・ 左 kg

立ち上がり： 不可 【基準値：可能】

前回測定値：

【関節可動域】

肩屈曲： 右 可能 ・ 左 可能 【基準値：可能】

前回測定値： 右 ・ 左

膝伸展： 右 可能 ・ 左 可能 【基準値：可能】

前回測定値： 右 ・ 左

足関節背屈： 右 可能 ・ 左 可能 【基準値：可能】

前回測定値： 右 ・ 左

大腿周径： 右 29 cm ・ 左 28 cm 【基準値：左右差2cm以内】

前回測定値： 右 cm ・ 左 cm

下腿周径： 右 26 cm ・ 左 26 cm 【基準値：左右差1cm以内】

前回測定値： 右 cm ・ 左 cm

所見	
口腔機能	CV角、RSST共に良好なので維持が必要です。
身体機能	バンザイ角に改善の余地があります
関節可動域	関節可動域は上肢下肢ともに良好で機能維持が必要です。

バンザイ角： 152 度 【基準値：180度】

前回測定値： 度

様 施術計画

ご本人様、ご家族様のご希望

健やかに、本人の希望を優先して欲しい

施設からの情報

長期目標

①口腔機能：	嚥下機能維持	②身体機能：	バンザイ角170度
③関節可動域：	関節可動域維持	④その他：	

短期目標（6か月）

①口腔機能：	CV角45度以上	②身体機能：	バンザイ角160度
③関節可動域：	関節可動域維持	④その他：	

実施プログラム

口腔機能

①	I-3-6 ペロまわし	②	I-3-9 深呼吸
③	I-3-10 舌の左右運動	④	I-3-11 うーいー運動

身体機能

①	D-15 上肢 バンザイ 座位	②	D-19 体幹 胸開き 座位
③	D-22 膝上げ 座位	④	D-23 下肢 膝伸ばし
⑤	D-24 下肢 膝開き	⑥	D-25 下肢 膝締め
⑦		⑧	
⑨		⑩	

関節可動域

①	G-2 下腿三頭筋	②	G-4 後脛骨筋
③	G-5 腓骨筋	④	G-6 前脛骨筋
⑤	B-10-1 足関節 底屈・背屈 座位	⑥	B-12-1 膝関節 屈曲・伸展 座位
⑦	B-13-1 股関節 屈曲・伸展 座位	⑧	
⑨		⑩	

月次報告書

〇〇〇〇様 10月施術ご報告書

3 日

本日の施術内容			
下肢自動運動	嚙下施術	マッサージ	エクササイズ
お体や会話、表情などの状態			
咳が出るそうですが笑顔もありお元気そうな様子でした 運動や立位なども積極的に行って下さいました			

6 日

本日の施術内容			
下肢他動運動	嚙下施術	マッサージ	
お体や会話、表情などの状態			
調子はまあまあだが少しガラガラ声気味だが熱は無いので大丈夫との事です テレビ等を観て楽しんでいるとの事です			

10 日

本日の施術内容			
下肢自動運動	嚙下施術	マッサージ	エクササイズ
お体や会話、表情などの状態			
昨日は寝られなかったそうで寝られないとイライラしてしまうとの事です それでも運動は一生懸命行って下さいました			

13 日

本日の施術内容			
下肢他動運動	嚙下施術	マッサージ	エクササイズ
お体や会話、表情などの状態			
右前腕に皮下出血があり今朝起きたら痛みは無いとの事でした 先週からお腹の調子が良くないとの事で気温差のせいかなと仰っていました			

17 日

本日の施術内容			
下肢自動運動	嚙下施術	マッサージ	エクササイズ
お体や会話、表情などの状態			
昔好きだった旅行のお話をして下さいました 立ち上がる際に右腿が少し痛むが運動しているうちに少し楽になると事です			

20 日

本日の施術内容			
下肢他動運動	嚙下施術	マッサージ	エクササイズ
お体や会話、表情などの状態			
調子はいつもと変わらずお元気そうな様子でした だいぶ涼しくなってきたので少し寒いと仰っていました			

24 日

本日の施術内容			
下肢自動運動	嚙下施術	マッサージ	エクササイズ
お体や会話、表情などの状態			
少し喉が痛いそうですが運動したら良くなったと仰っていました 運動も出来る範囲でしっかりと行って下さいました			

27 日

本日の施術内容			
下肢他動運動	嚙下施術	マッサージ	
お体や会話、表情などの状態			
少し体調が良く無いとの事で寒くなってきて温度調整が難しいと仰っていました 表情はそこまで悪そうには見えませんでした			

31 日

本日の施術内容			
下肢自動運動	嚙下施術	マッサージ	エクササイズ
お体や会話、表情などの状態			
ハロウィンの日の渋谷のお話を色々とお話しして下さいました 立ち上がり動作時に腰が少し痛むようでした			

〇〇〇〇様 10月施術ご報告書

3 日

本日の施術内容

下肢自動運動	嚥下施術	マッサージ	エクササイズ
--------	------	-------	--------

お体や会話、表情などの状態

咳が出るそうですが笑顔もありお元気そうな様子でした
運動や立位なども積極的に行っていました

6 日

本日の施術内容

下肢他動運動	嚥下施術	マッサージ	
--------	------	-------	--

お体や会話、表情などの状態

調子はまあまあだが少しガラガラ声気味だが熱は無いので大丈夫との事です
テレビ等を観て楽しんでいるとの事です

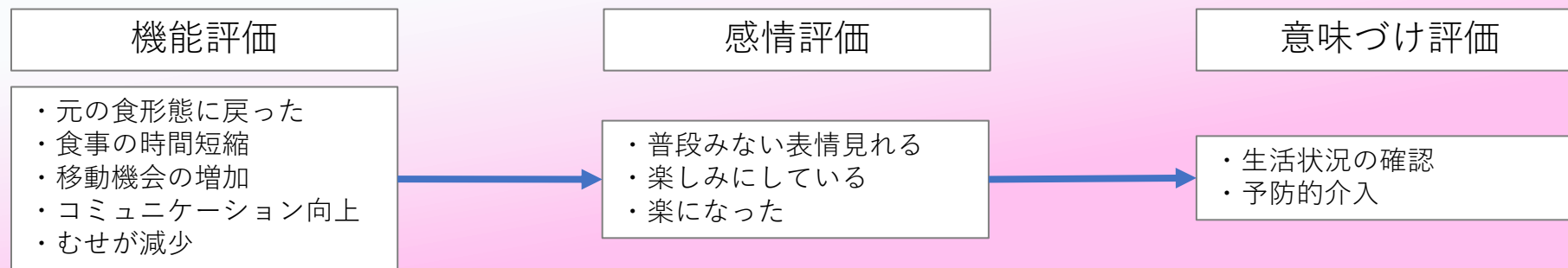
10 日

< ご家族 >

- ・入院後に食形態が低下したが、数ヶ月で元の食形態に戻ることができた
- ・施術時に朗らかに話しかけてくれるので、普段見られない表情を見ることができた
- ・母が施術を楽しみにしている様子です
- ・毎月の報告書で様子がわかるので報告書を楽しみにしている

< 介護施設 >

- ・食事の時間が短縮され、他の方と同じ時間で食事が終わるようになった
- ・お部屋から出る機会が増加した
- ・滑舌、発語が改善されコミュニケーションが取りやすくなった
- ・食事の際のむせ込みが随分と減少した
- ・（ケアマネが）リスクの高い人を選び、介護業務が煩雑にならないように予防的に活用



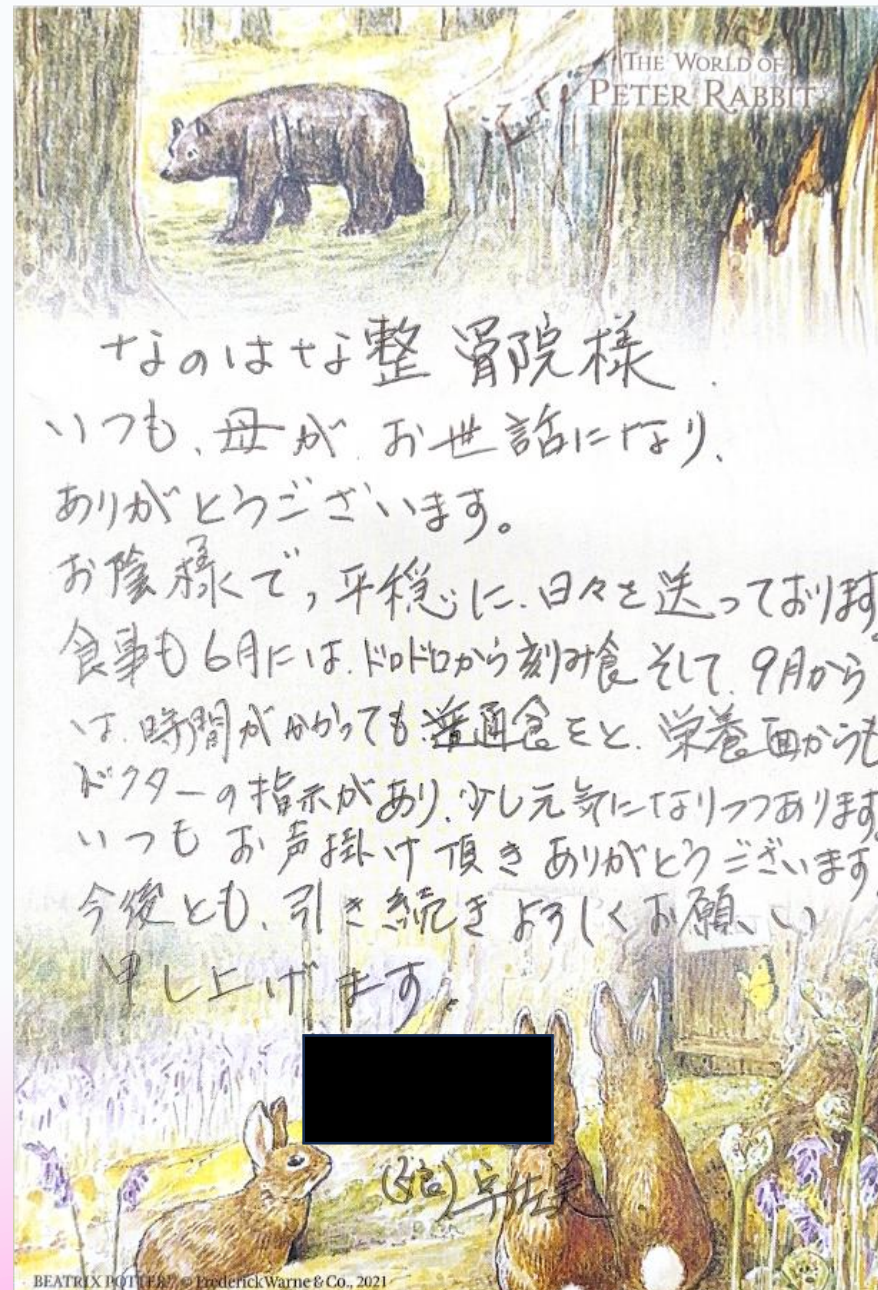
利用者家族・介護従事者に喜んでもらえている

症例紹介

ご入院をきっかけに普通食からミキサー食へ形態変更
約4か月かけて、刻み食、普通食への回復
ご家族様からお喜びのお手紙を頂きました

3回/週の介入 施術内容

- ・嚥下機能に関わる筋肉の刺激
- ・唾液腺マッサージ
- ・口腔体操
- ・関節拘縮の予防



症例紹介

介護付き有料老人ホームにご入居

寝たきりの状態で意思疎通も難しい状態

上肢・下肢ともに関節拘縮が強く、ベッドと車椅子一体型のベッドを利用
2回/週の介入

介入初期：唾液の粘性がとても強く、口内や舌の白さが強い状態

介入内容：関節拘縮増悪予防のマッサージと関節運動

唾液分泌促進の唾液腺マッサージ、ローラー鍼による表情筋へのアプローチ
来訪時の積極的なお声掛け

介入効果：半年ほどで唾液粘性の低下改善、口内や舌の白さの改善

時折「あー」という発語がみられら

発語について施設スタッフに報告したところ、しばらく声を
聞いていなかったと驚かれていた

株式会社アテンドの 嚥下口腔レクリエーション

ご清聴ありがとうございました